

2020年6月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2020年8月7日

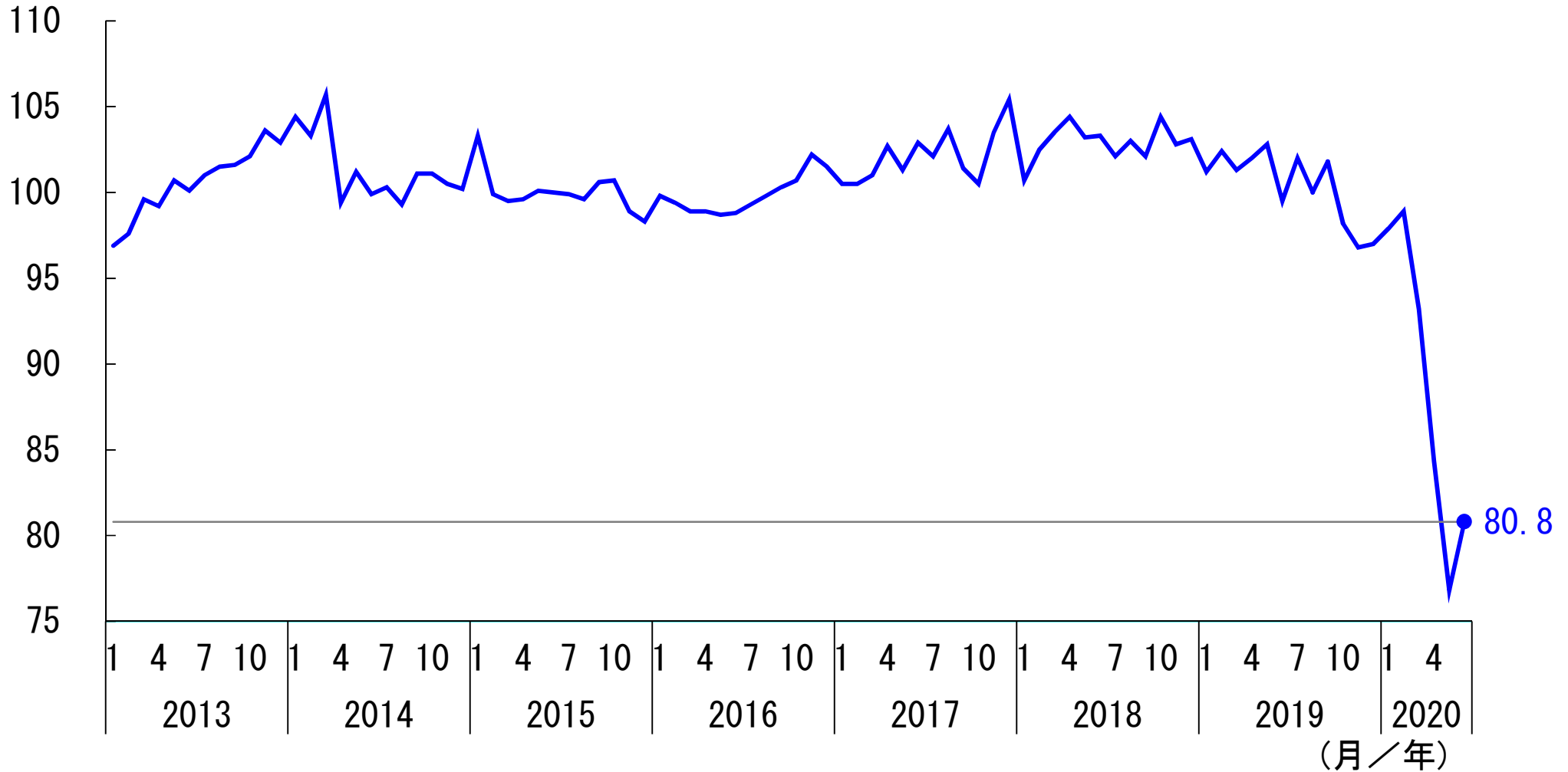
経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

鉍工業出荷指数の動向

・ 2020年6月の鉍工業出荷指数は80.8 (前月比5.2%) と4か月ぶりの上昇。

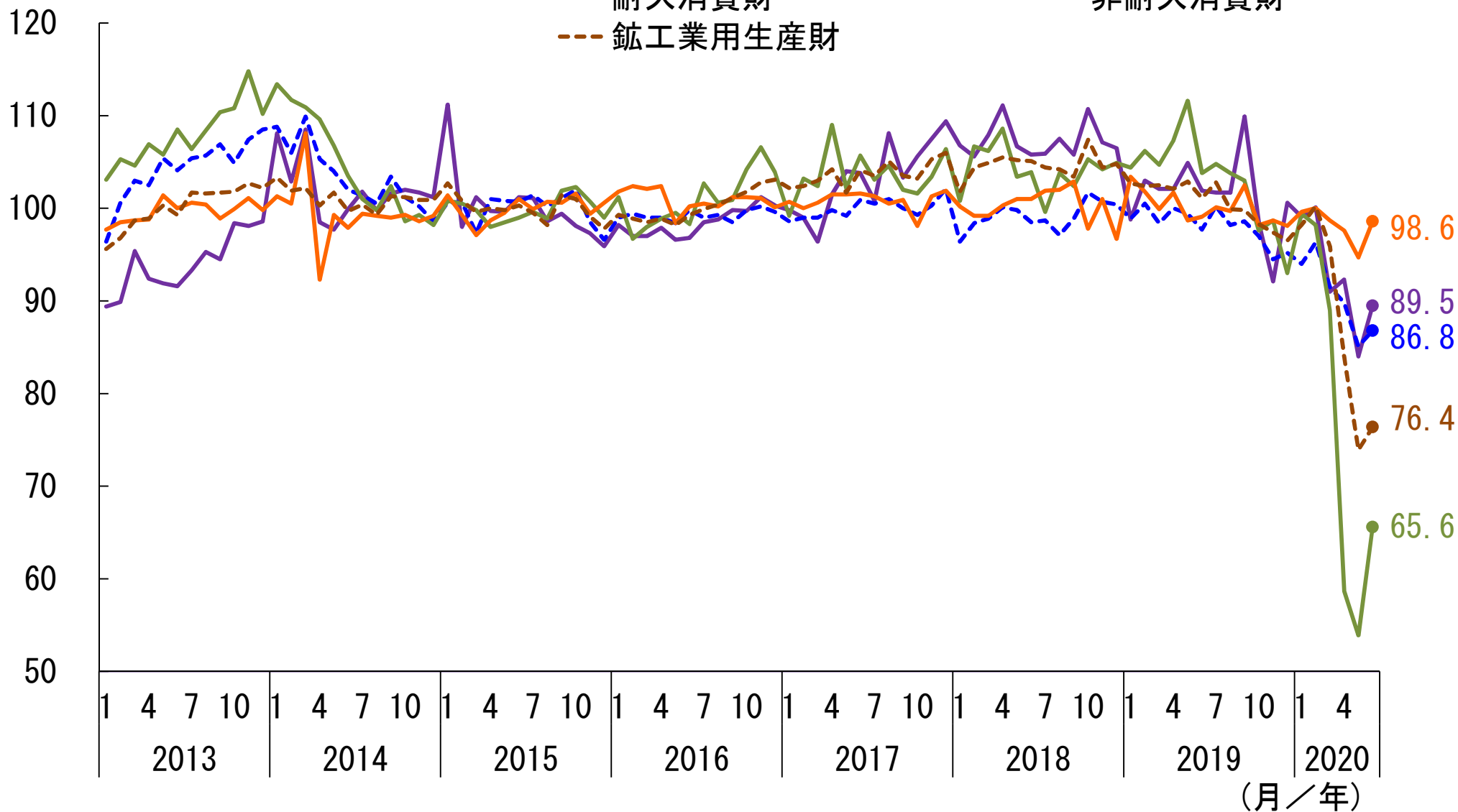
(2015年=100、季節調整済)



財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- 耐久消費財
- - 鉱工業用生産財
- - 建設財
- 非耐久消費財



2020年6月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	80.8 5.2%	74.9 6.1%	82.7 4.9%
指数水準	2020. 4 84. 3以来 I 2014. 3 105. 7 II 2017. 12 105. 4 III 2014. 1, 2018. 4, 10 104. 4	2020. 4 77. 7以来 I 2018. 6 109. 8 II 2018. 4 109. 0 III 2017. 12, 2018. 8 108. 9	2020. 4 86. 3以来 I 2014. 3 107. 8 II 2014. 1 106. 9 III 2013. 12, 2017. 12 104. 8
前月比の動き	4か月ぶり+ (2020.2以来)	4か月ぶり+ (2020.2以来)	5か月ぶり+ (2020.1以来)
前月比幅	2015年基準最高水準 I 2020. 6 5. 2% II 2015. 1 3. 1% III 2017. 11 3. 0%	2020. 2 7. 8%以来 I 2020. 2 7. 8% II 2014. 2 7. 2% III 2019. 2 6. 4%	2015年基準最高水準 I 2020. 6 4. 9% II 2014. 3 3. 6% III 2017. 4 3. 4%

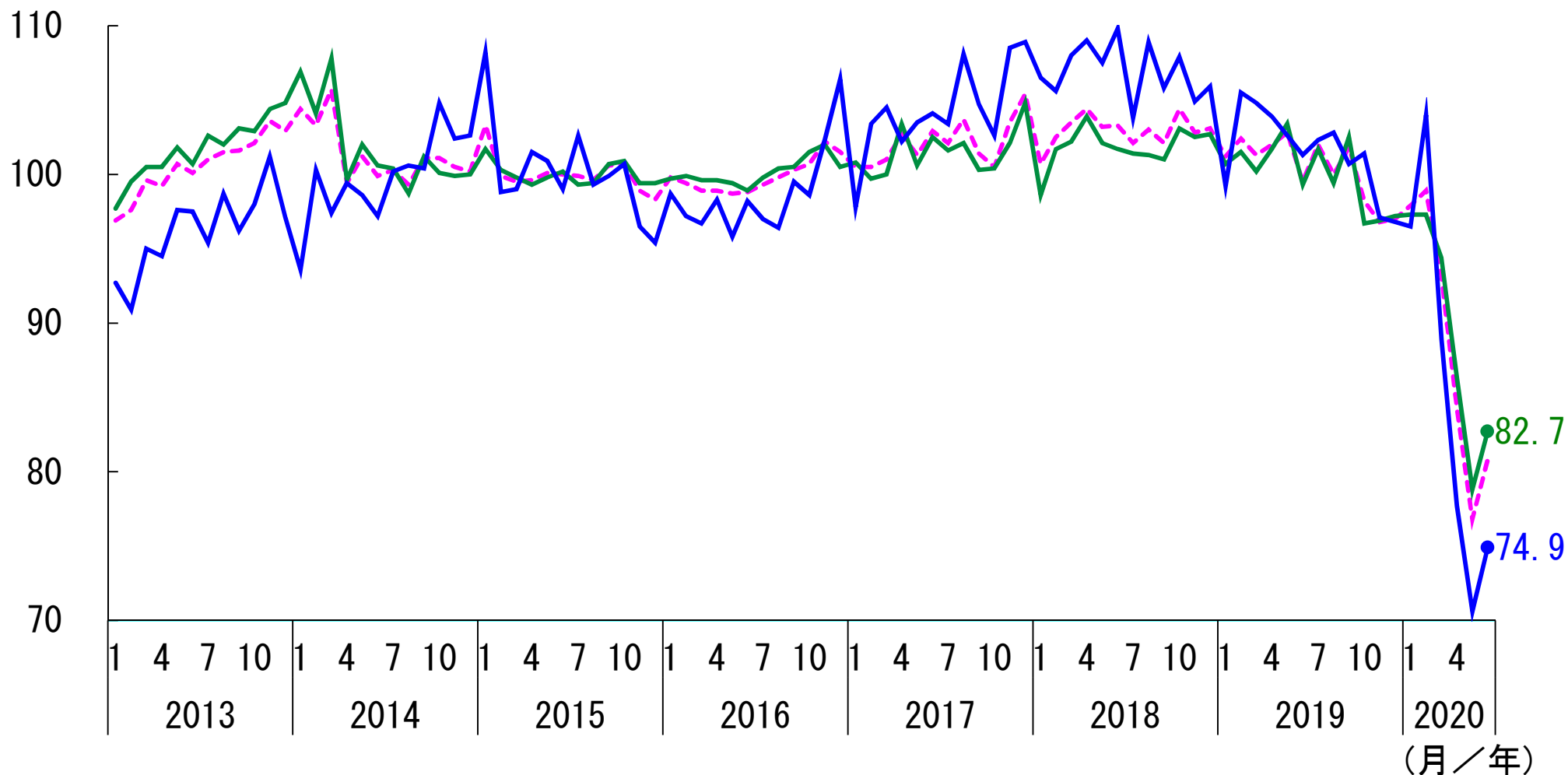
1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2020年6月の鋳工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは82.7(前月比4.9%)と5か月ぶりの上昇、輸出向けは74.9(前月比6.1%)と4か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

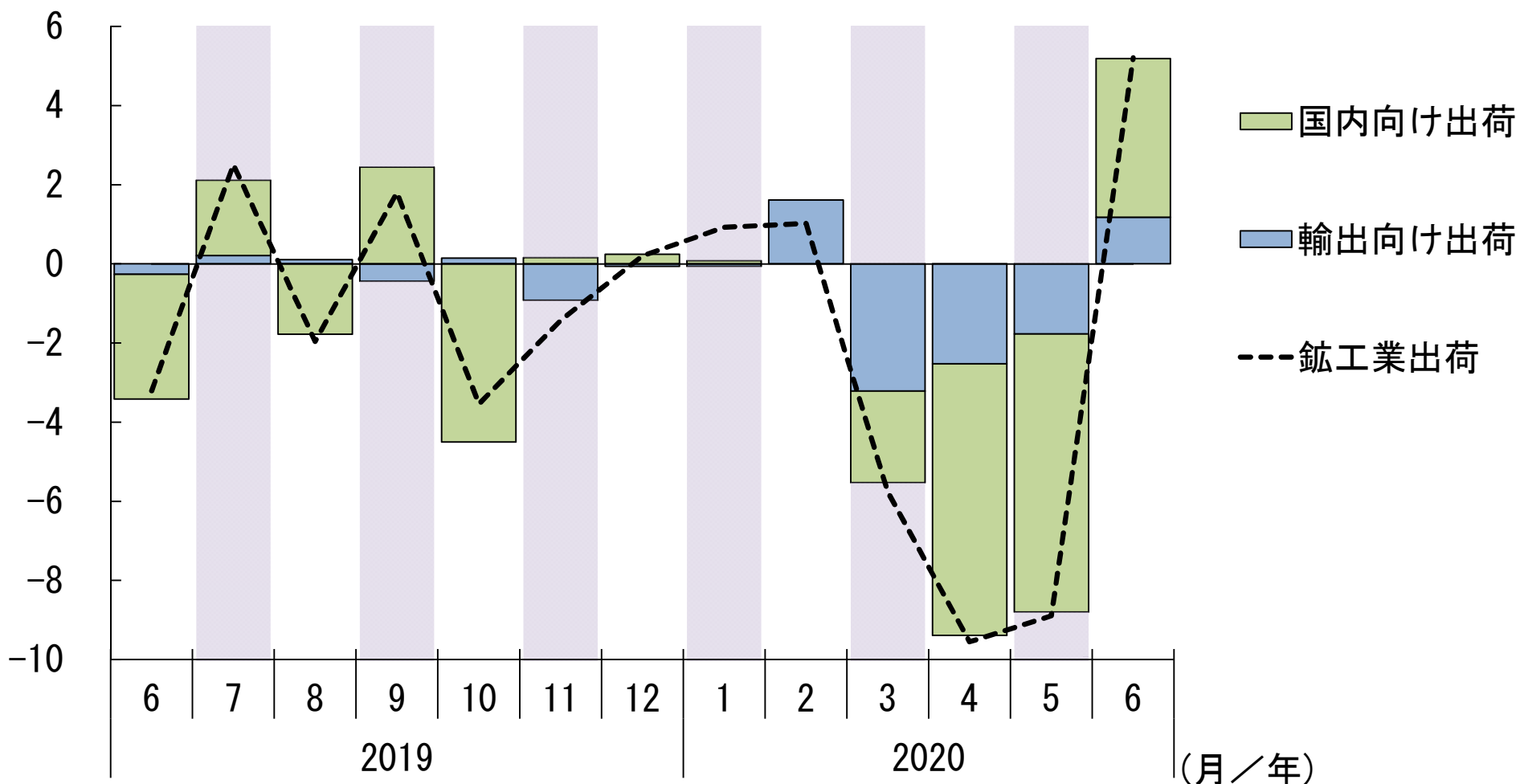
--- 鋳工業出荷 — 国内向け — 輸出向け



鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2020年6月の鉍工業出荷は国内向け、輸出向けともに上昇したため、前月比5.2%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

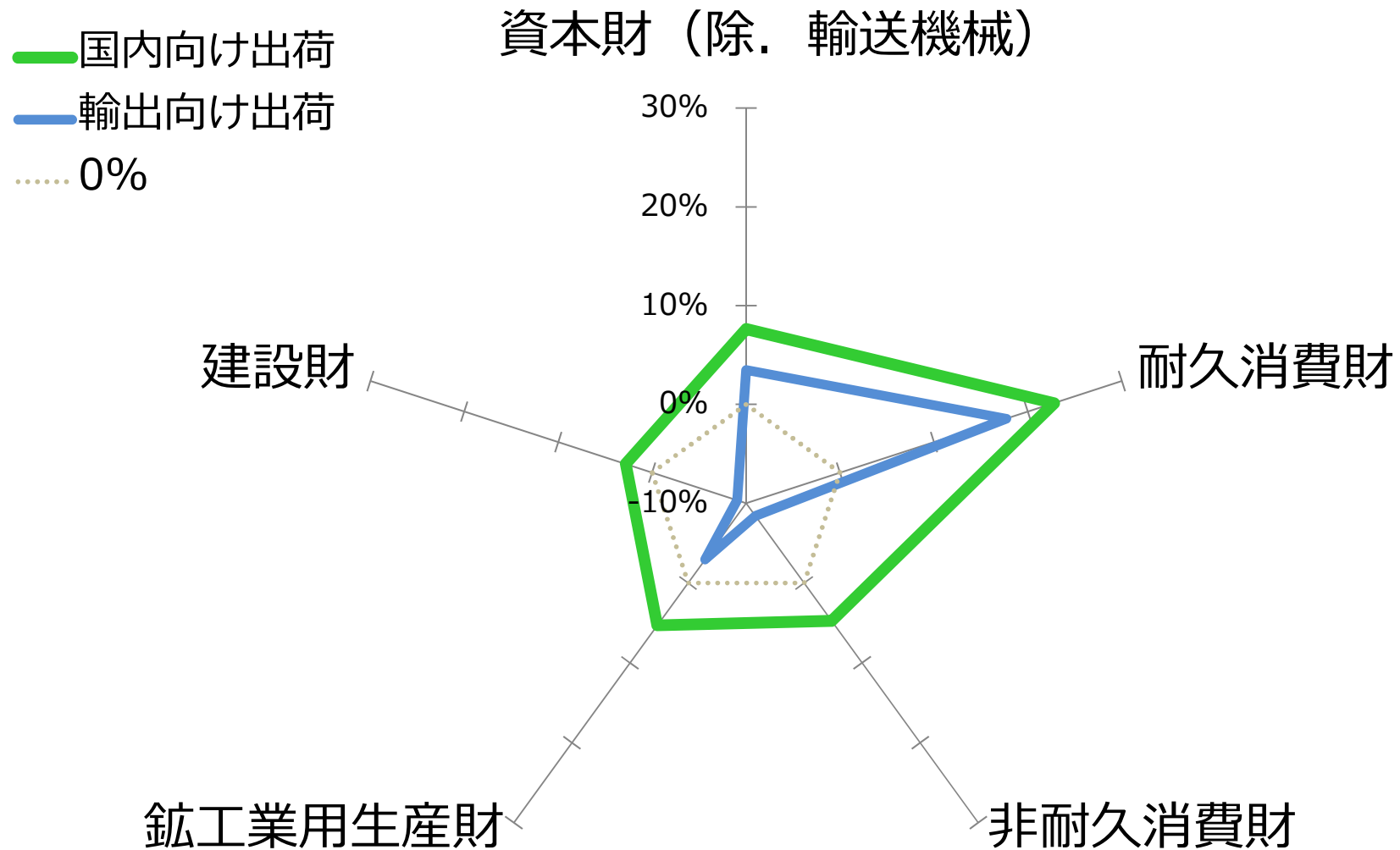


主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	-2.5	-1.98	-0.61
生産用機械工業	11.9	9.07	2.86
汎用・業務用機械工業	4.2	5.41	-0.86
電気・情報通信機械工業	3.4	2.98	0.13
輸送機械工業	31.4	17.43	13.38
化学工業(除. 医薬品)	2.2	1.58	0.83

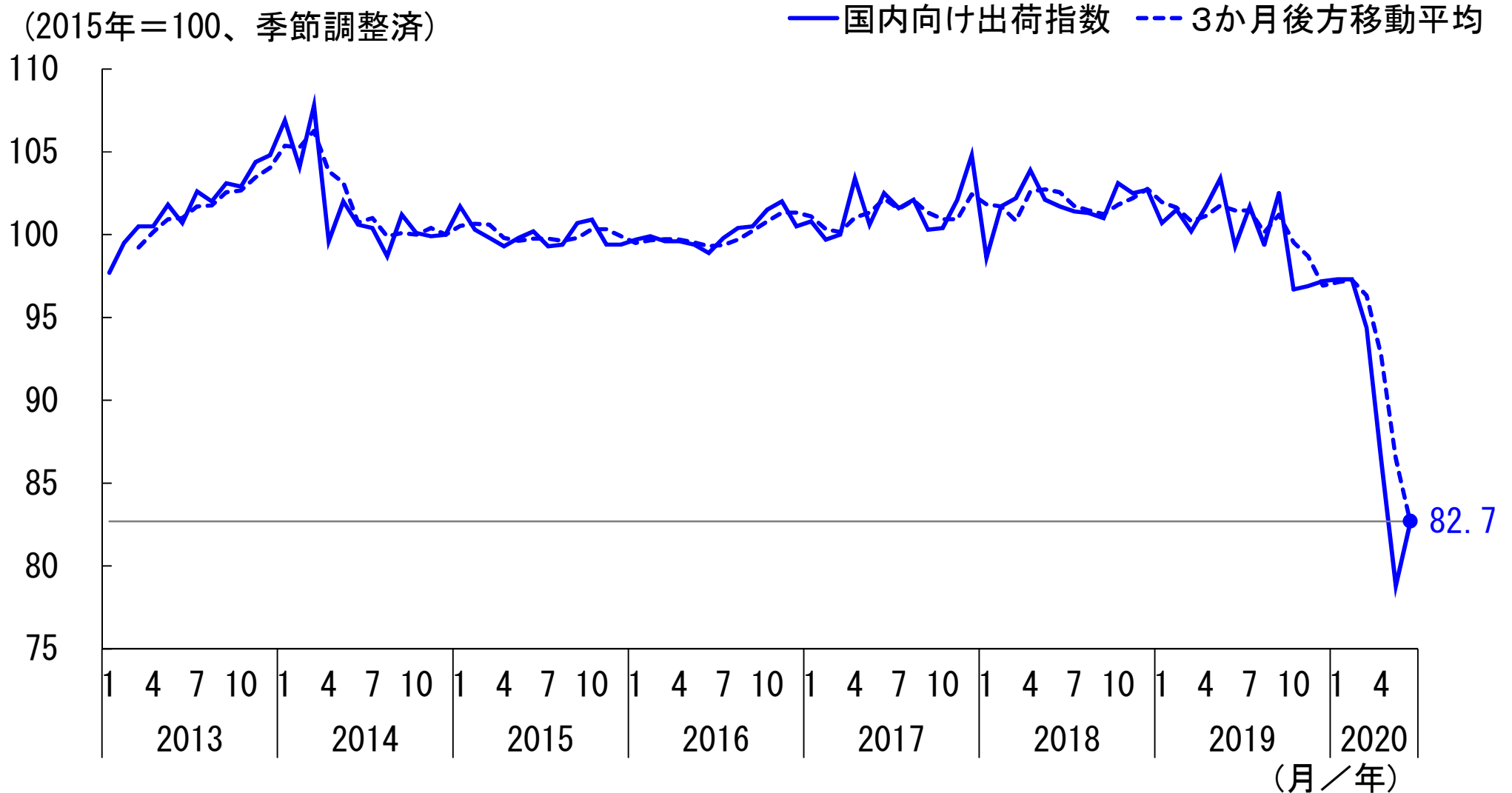
財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	3.4	3.99	-0.73
資本財(除. 輸送機械)	6.5	5.02	1.21
建設財	2.0	2.64	-0.57
耐久消費財	21.7	19.10	2.70
非耐久消費財	4.1	4.52	-0.39

国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較(2020年6月)



国内向け出荷指数の動向

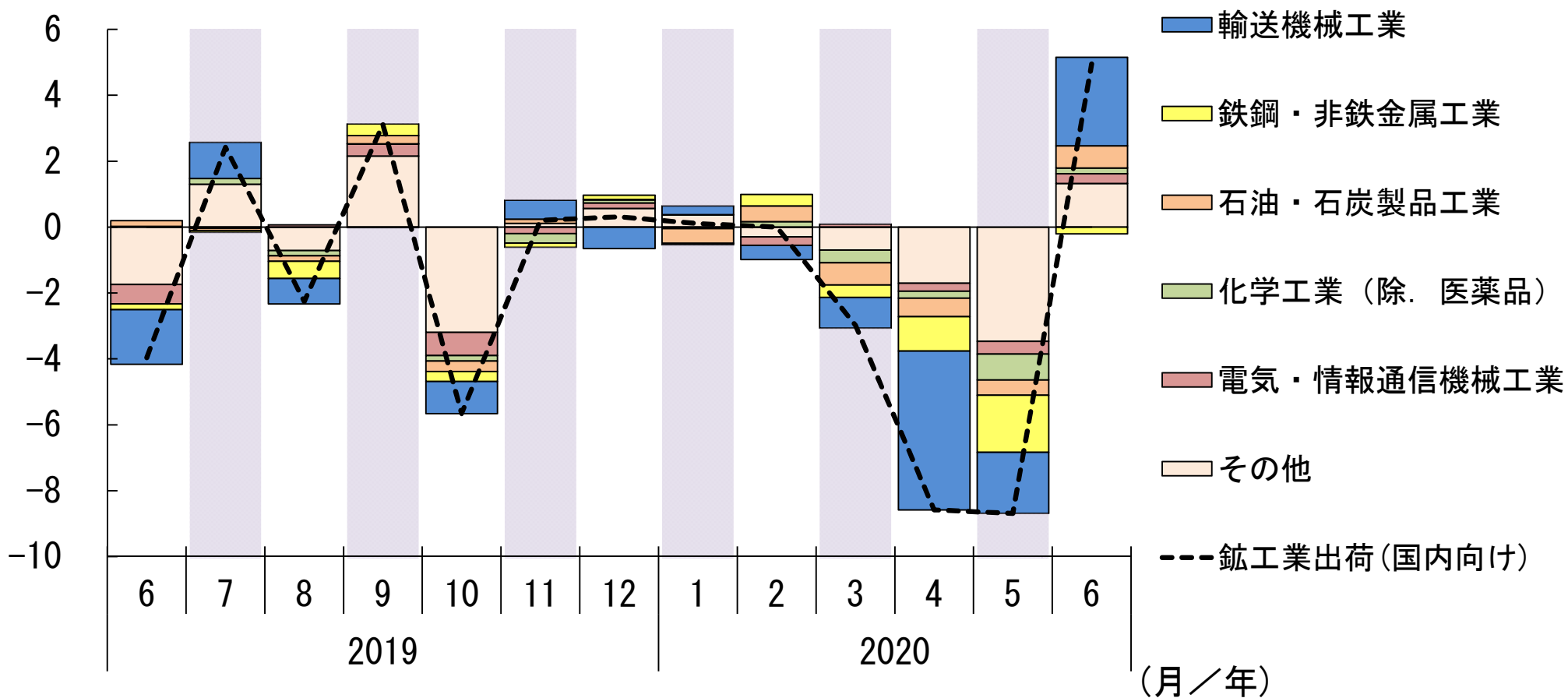
・ 2020年6月の国内向け出荷指数は82.7(前月比4.9%)と5か月ぶりの上昇。



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年6月の国内向け出荷を主要業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業が低下したものの、輸送機械工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

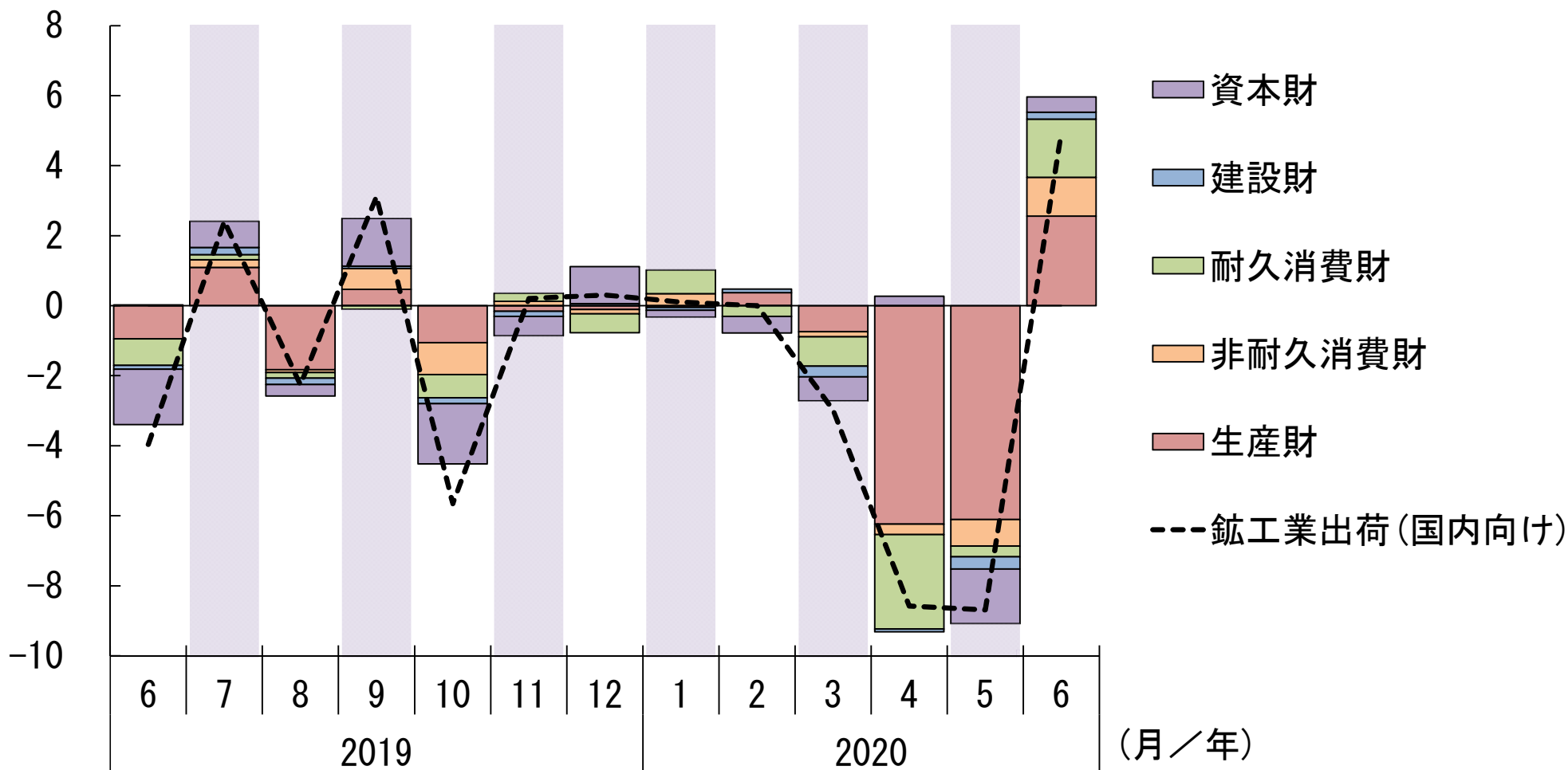


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年6月の国内向け出荷を財別にみると、生産財などが上昇。

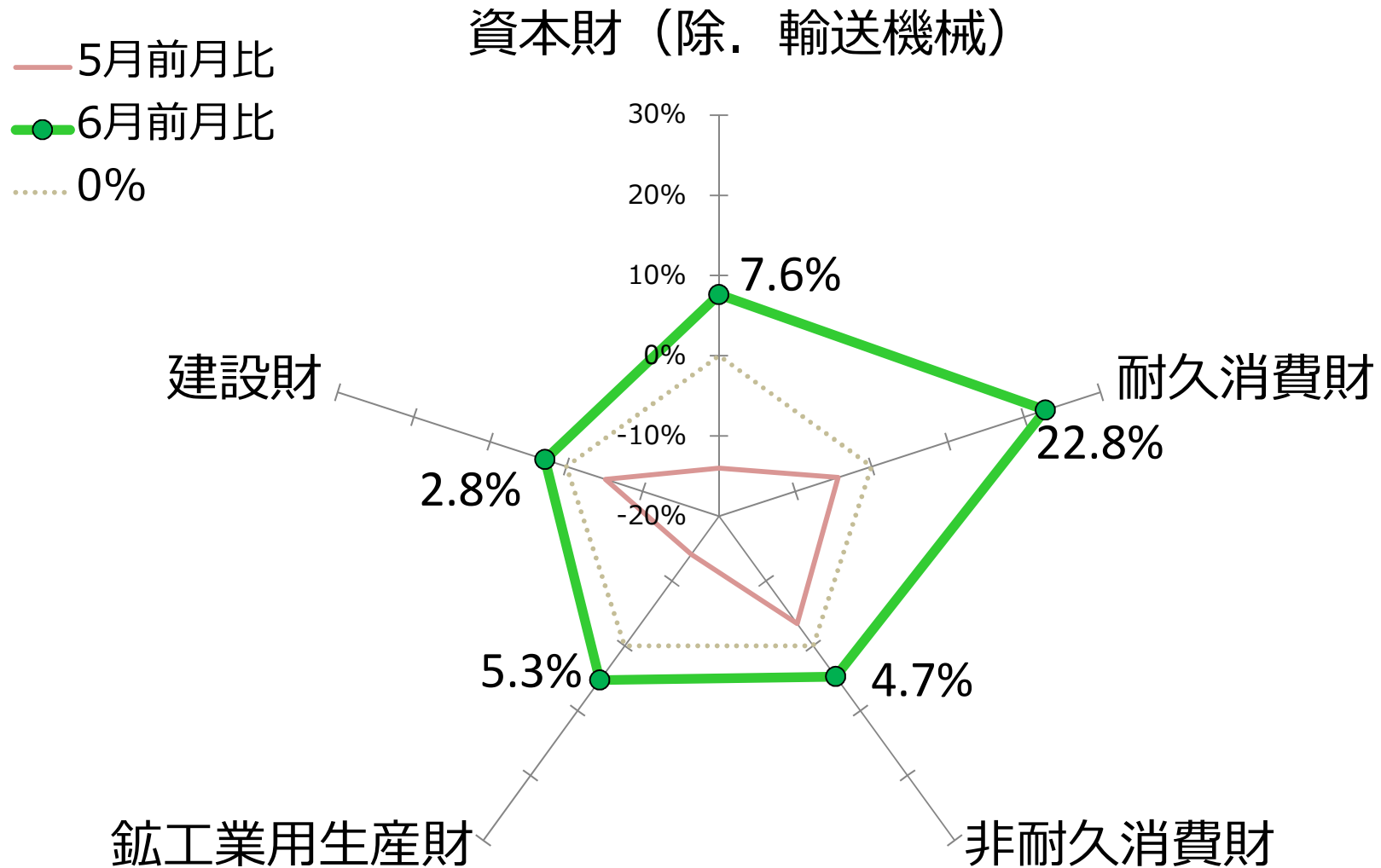
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年6月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

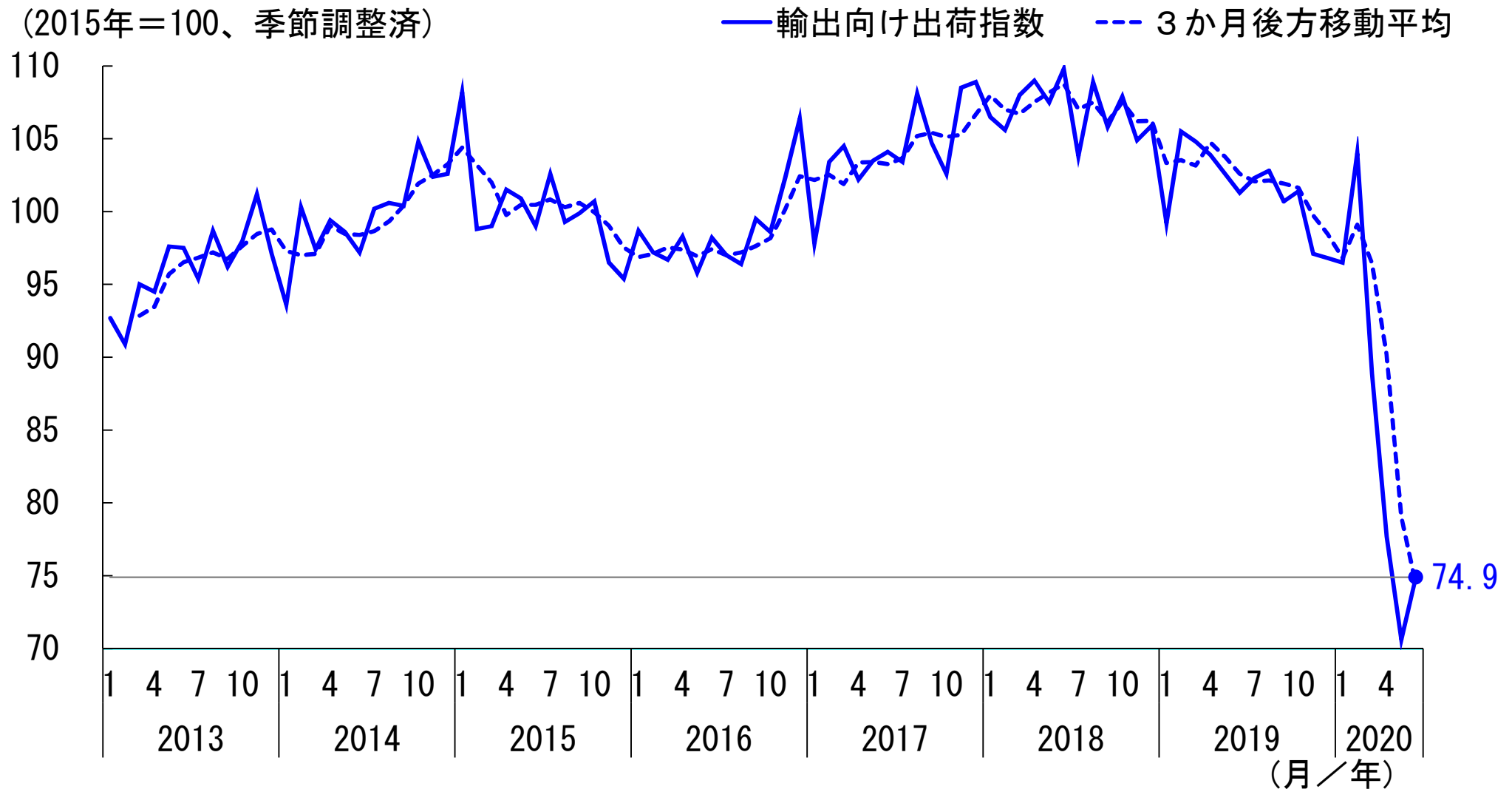
財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	4.9	—
鉱工業用生産財	5.3	2.13
耐久消費財	22.8	1.66
非耐久消費財	4.7	1.11
資本財(除. 輸送機械)	7.6	0.78
その他用生産財	5.7	0.46
建設財	2.8	0.20

国内向け財別出荷指数前月比の比較(2020年5月、6月)



輸出向け出荷指数の動向

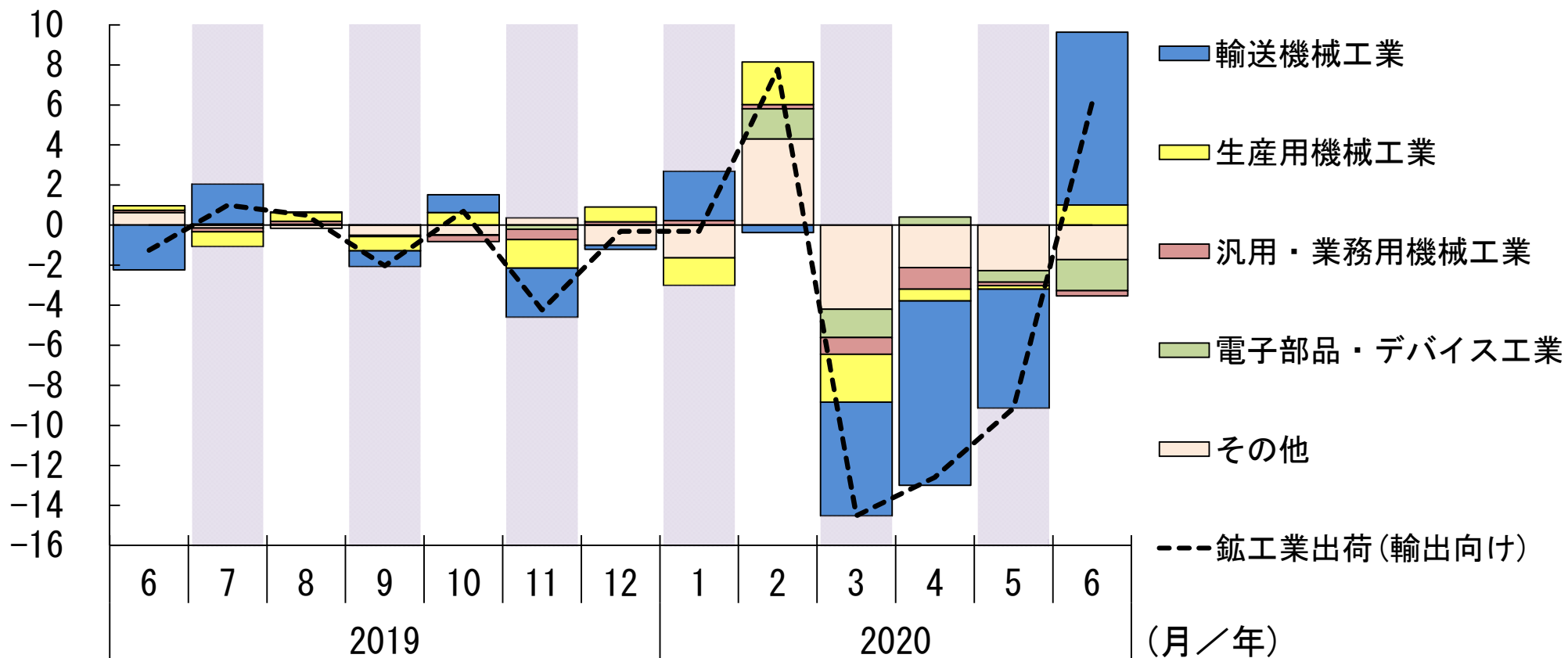
・ 2020年6月の輸出向け出荷指数は74.9(前月比6.1%)と4か月ぶりの上昇。



輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年6月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

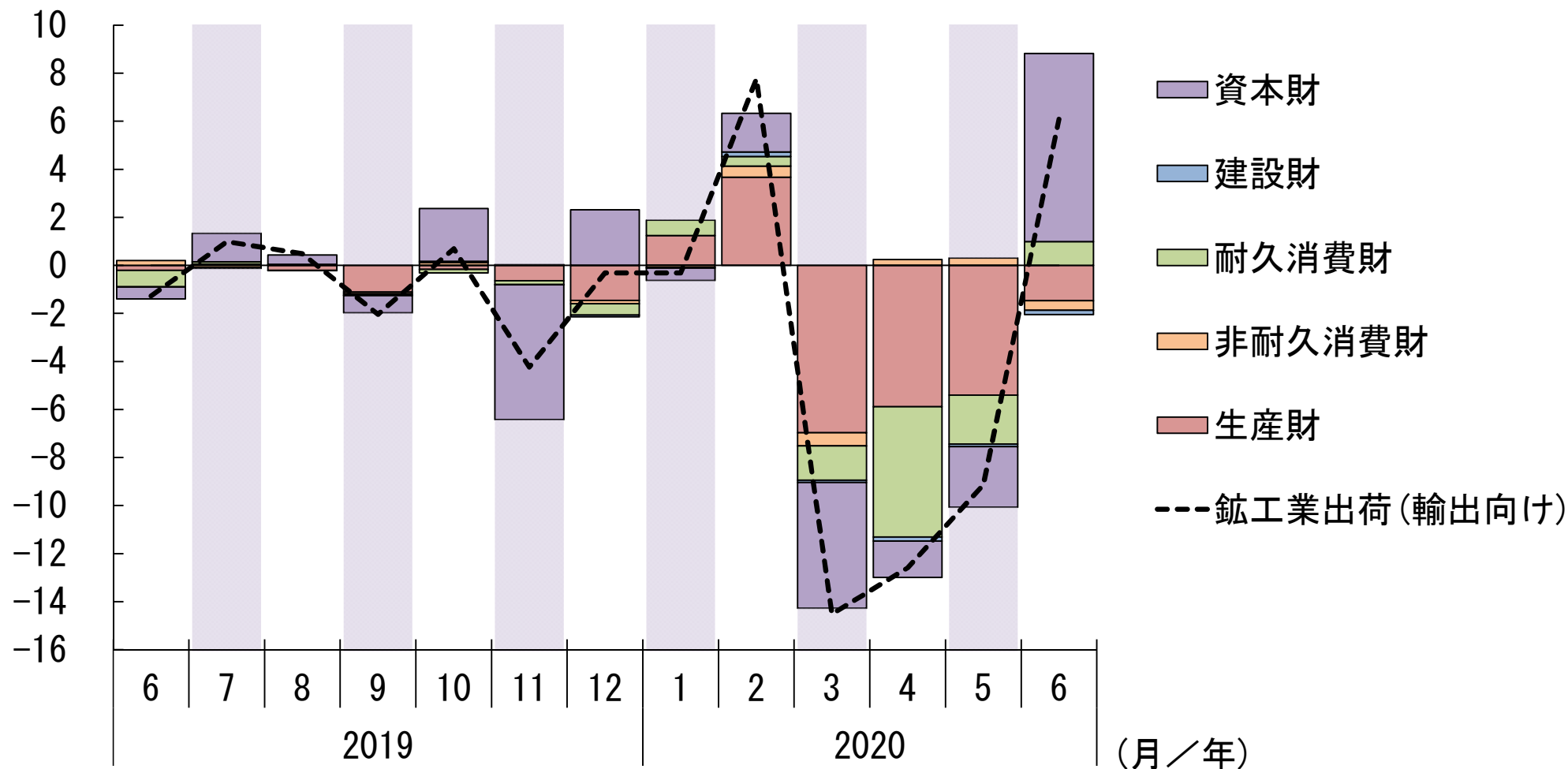


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年6月の輸出向け出荷を財別にみると、生産財などが低下したものの、資本財などが上昇。

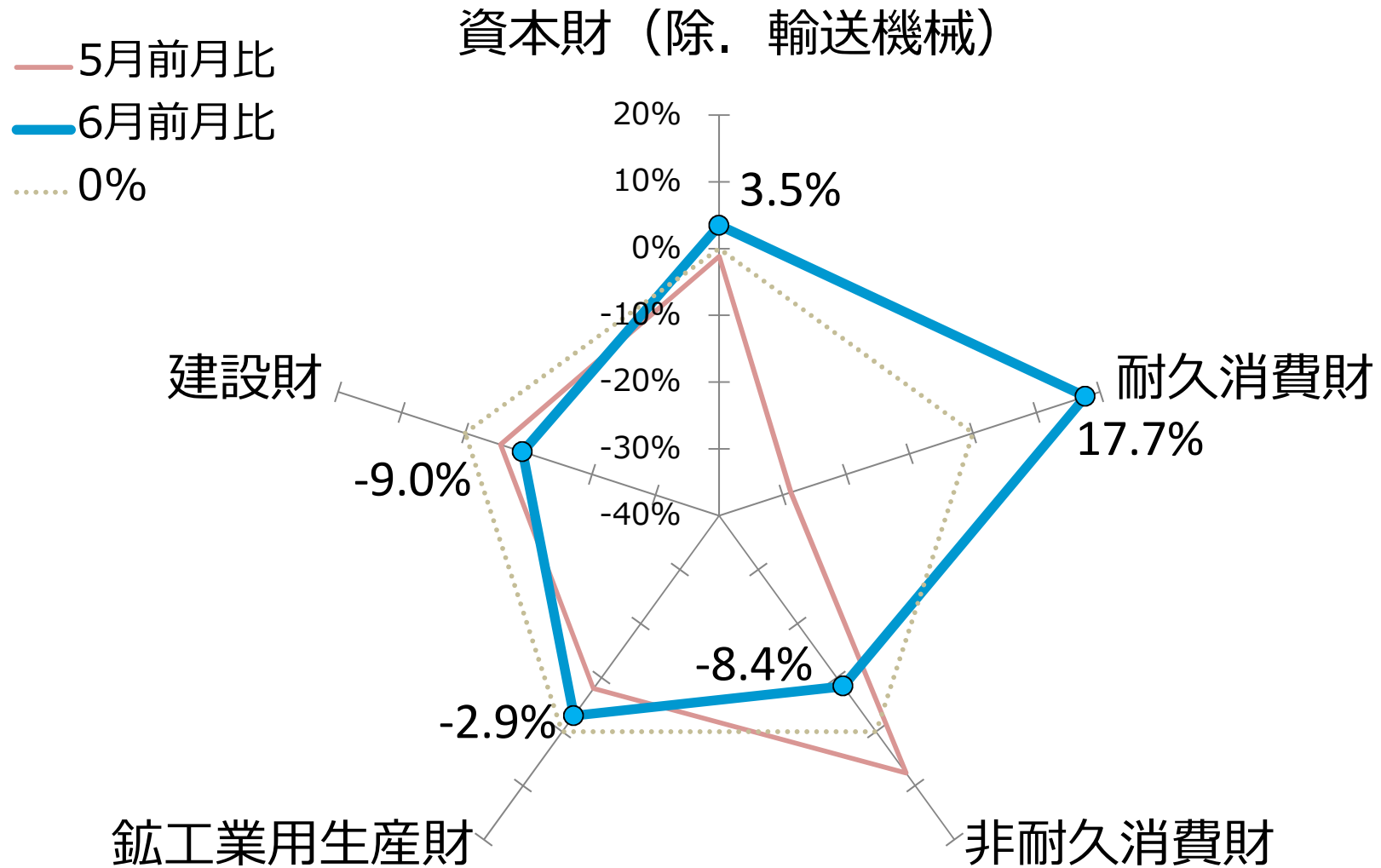
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年6月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	6.1	—
耐久消費財	17.7	0.98
資本財(除. 輸送機械)	3.5	0.79
その他用生産財	14.0	0.24
建設財	-9.0	-0.18
非耐久消費財	-8.4	-0.40
鉱工業用生産財	-2.9	-1.63

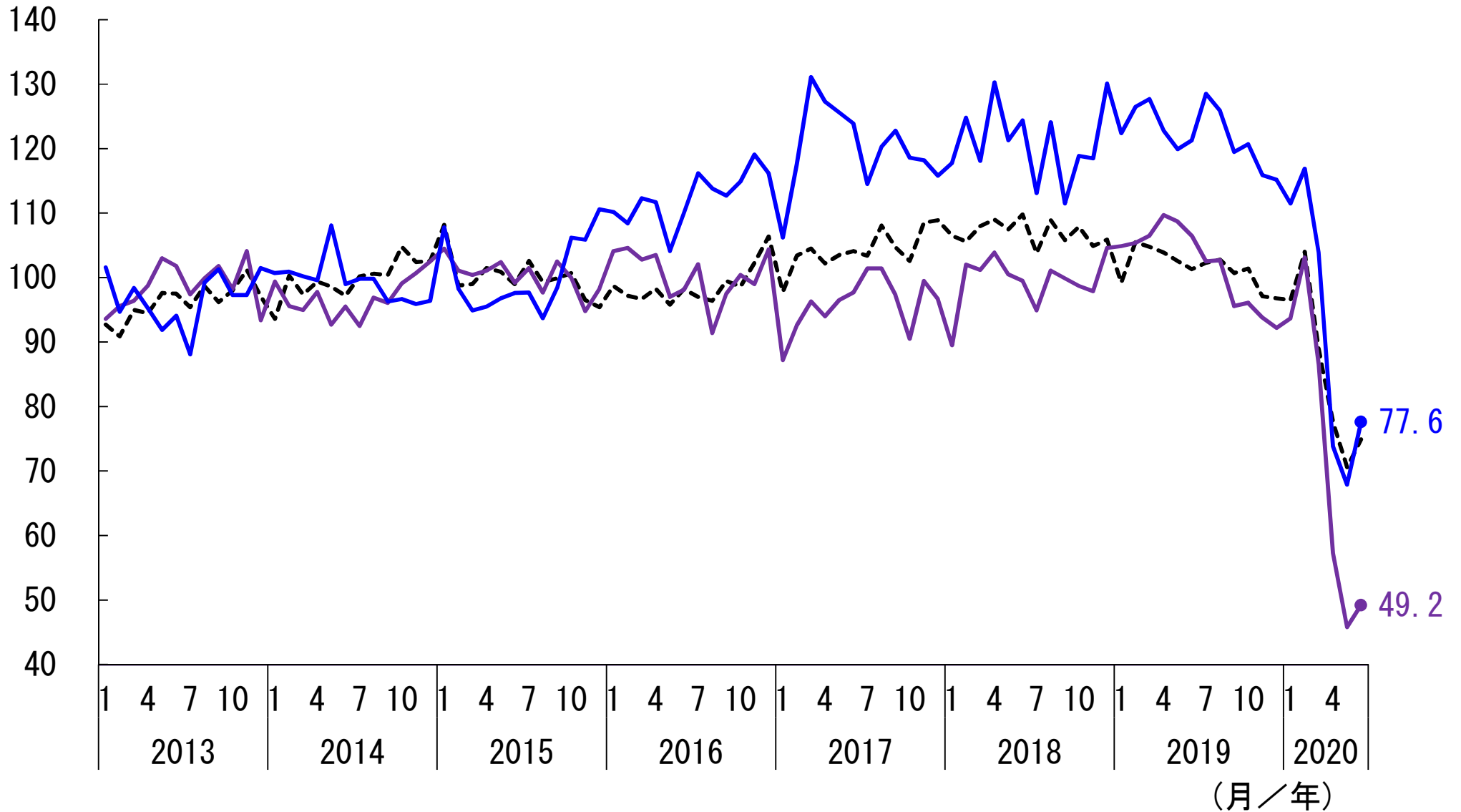
輸出向け財別出荷指数前月比の比較(2020年5月、6月)



欧米向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

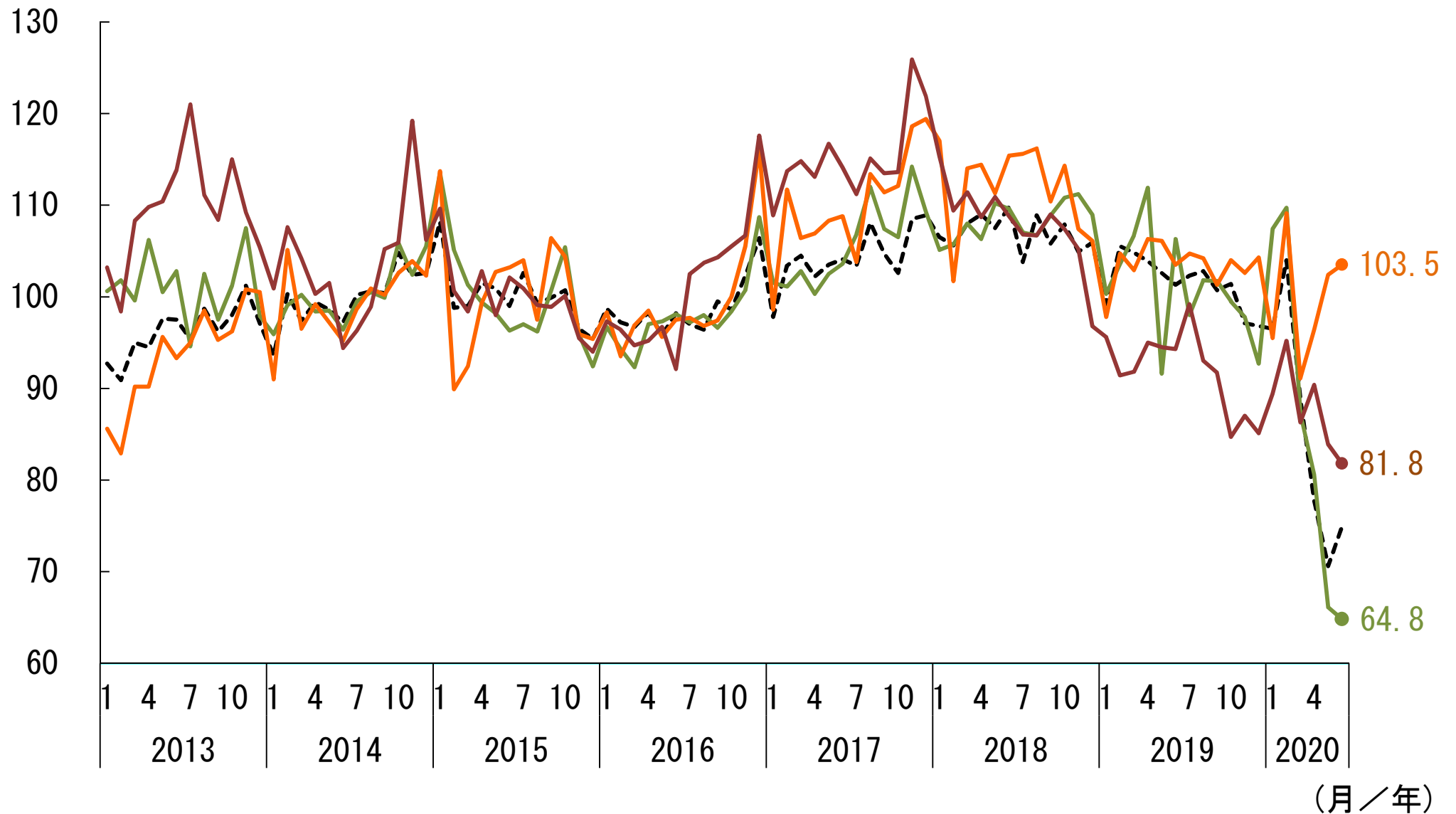
--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け



(注) 貿易統計に基づく試算値

アジア向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済) --- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

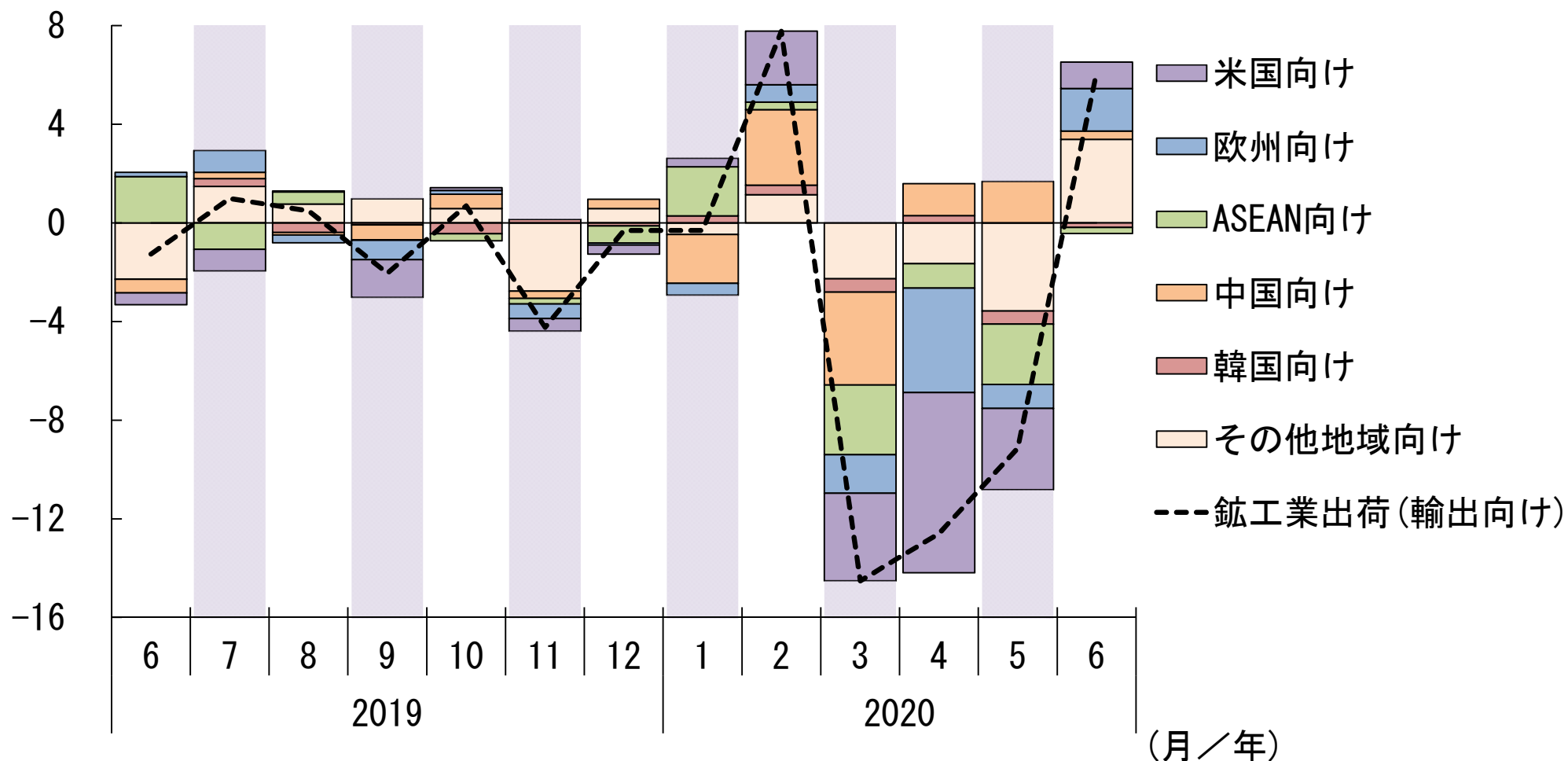


(注) 貿易統計に基づく試算値

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

・ 2020年6月の輸出向け出荷を地域別にみると、ASEAN向けなどが低下したものの、欧州向けなどが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

2020年6月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	84.3 3.6%	82.7 4.8%	87.8 -0.9%
指数水準	2020. 4 89. 8以来 I 2014. 3 108. 3 II 2014. 1 105. 9 III 2017. 12 105. 0	2020. 4 86. 4以来 I 2014. 3 107. 8 II 2014. 1 106. 6 III 2017. 12 104. 8	2020. 2 84. 9以来 ①2020. 2 84. 9 ②2020. 6 87. 8 ③2020. 5 88. 6
前月比の動き	3か月ぶり+ (2020.3以来)	4か月ぶり+ (2020.2以来)	2か月連続- (2020.5～当月)
前月比幅	2019. 9 3. 7%以来 I 2014. 3 5. 0% II 2019. 9 3. 7% III 2014. 9, 2018. 10, 2020. 6 3. 6%	2015年基準最高水準 I 2020. 6 4. 8% II 2014. 3 3. 6% III 2017. 4 3. 4%	2020. 5 -11. 5%以来 ①2020. 2 -13. 5% ②2020. 5 -11. 5% ③2014. 4 -10. 5%

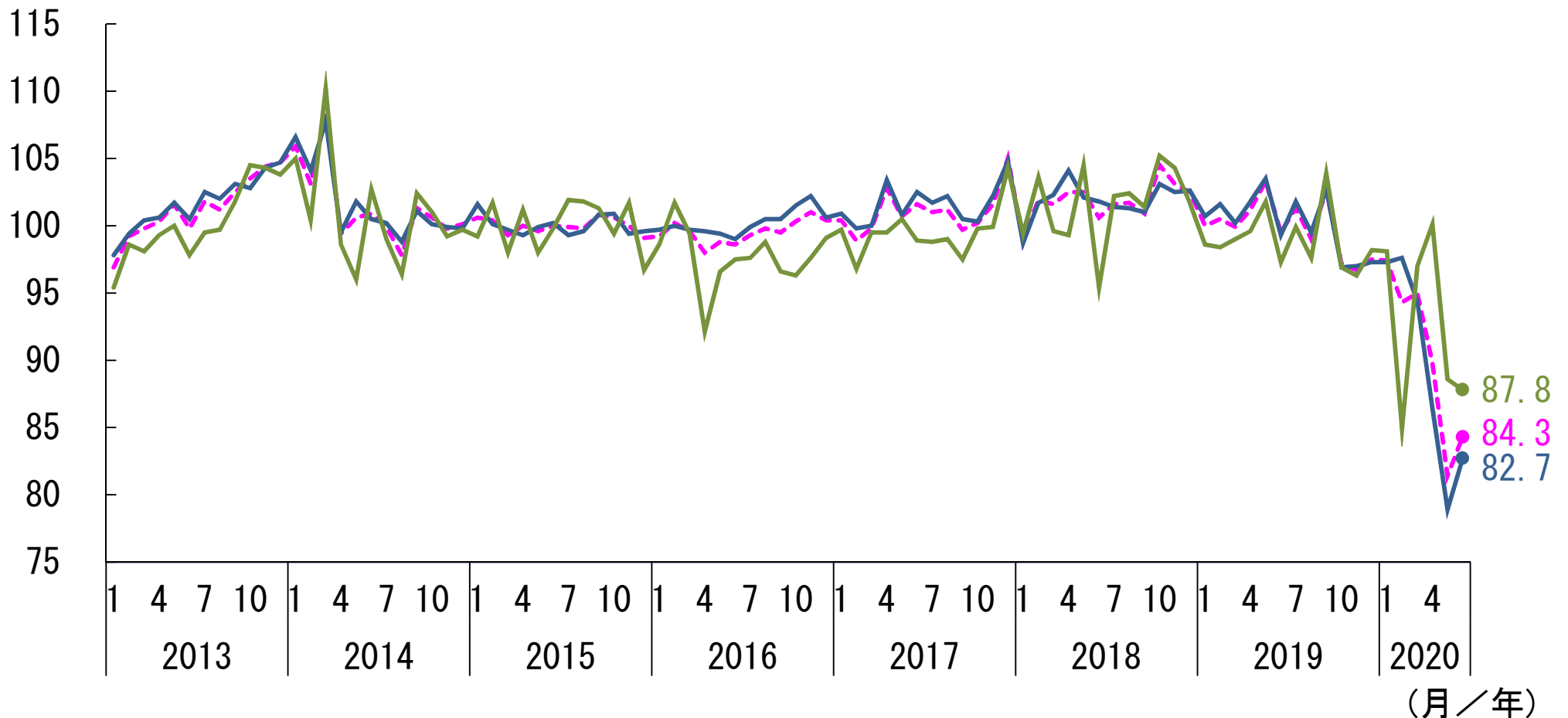
1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉍工業総供給指数の動向

・2020年6月の鉍工業総供給指数は84.3(前月比3.6%)と3か月ぶりの上昇。
 ・内訳をみると、国産は82.7(前月比4.8%)と4か月ぶりの上昇、輸入は87.8(前月比-0.9%)と2か月連続の低下。

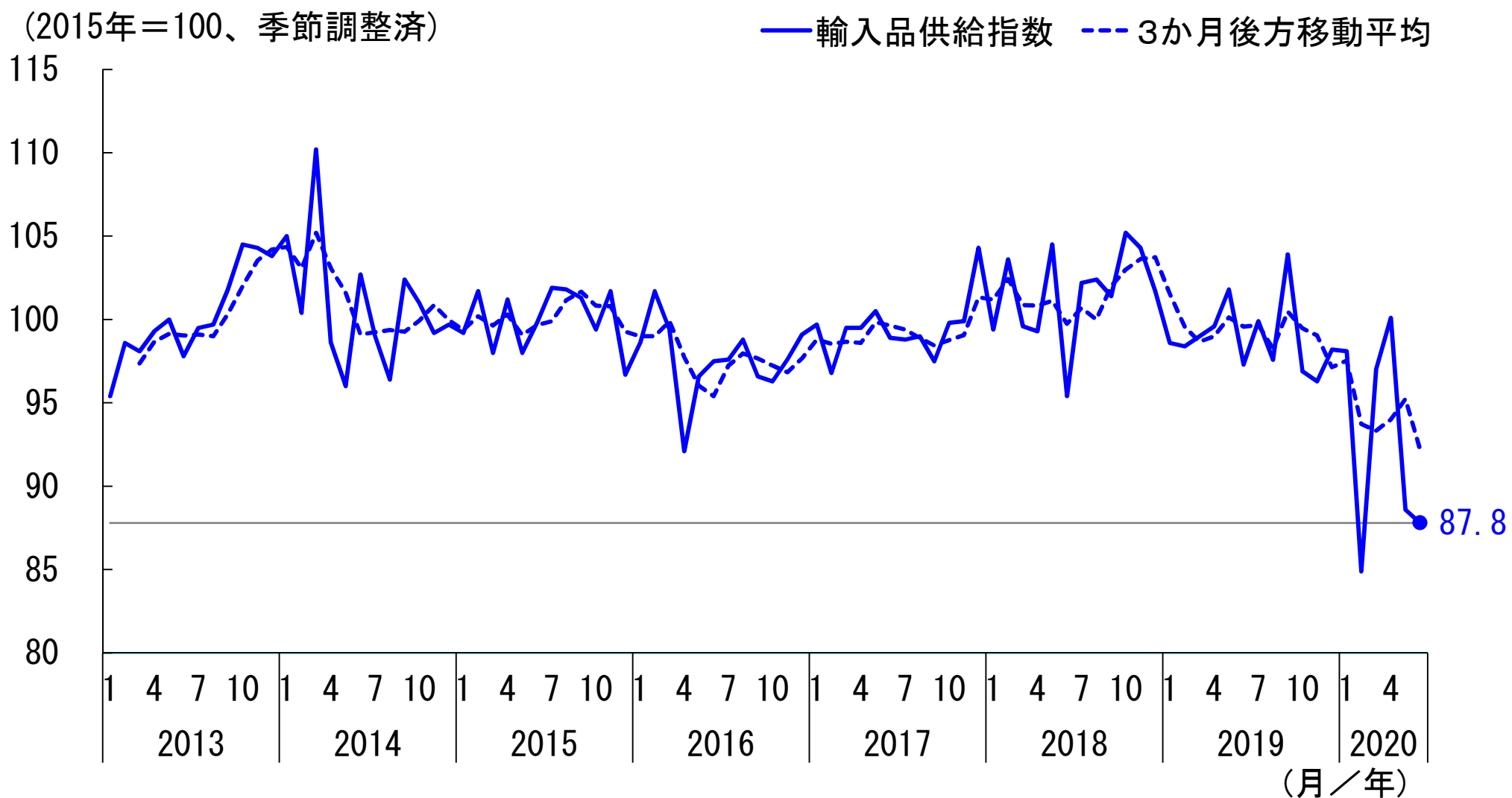
(2015年=100、季節調整済)

--- 鉍工業総供給 — 国産 — 輸入



輸入品供給指数の動向

・ 2020年6月の輸入品供給指数は87.8 (前月比-0.9%) と2か月連続の低下。



2020年4-6月期の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

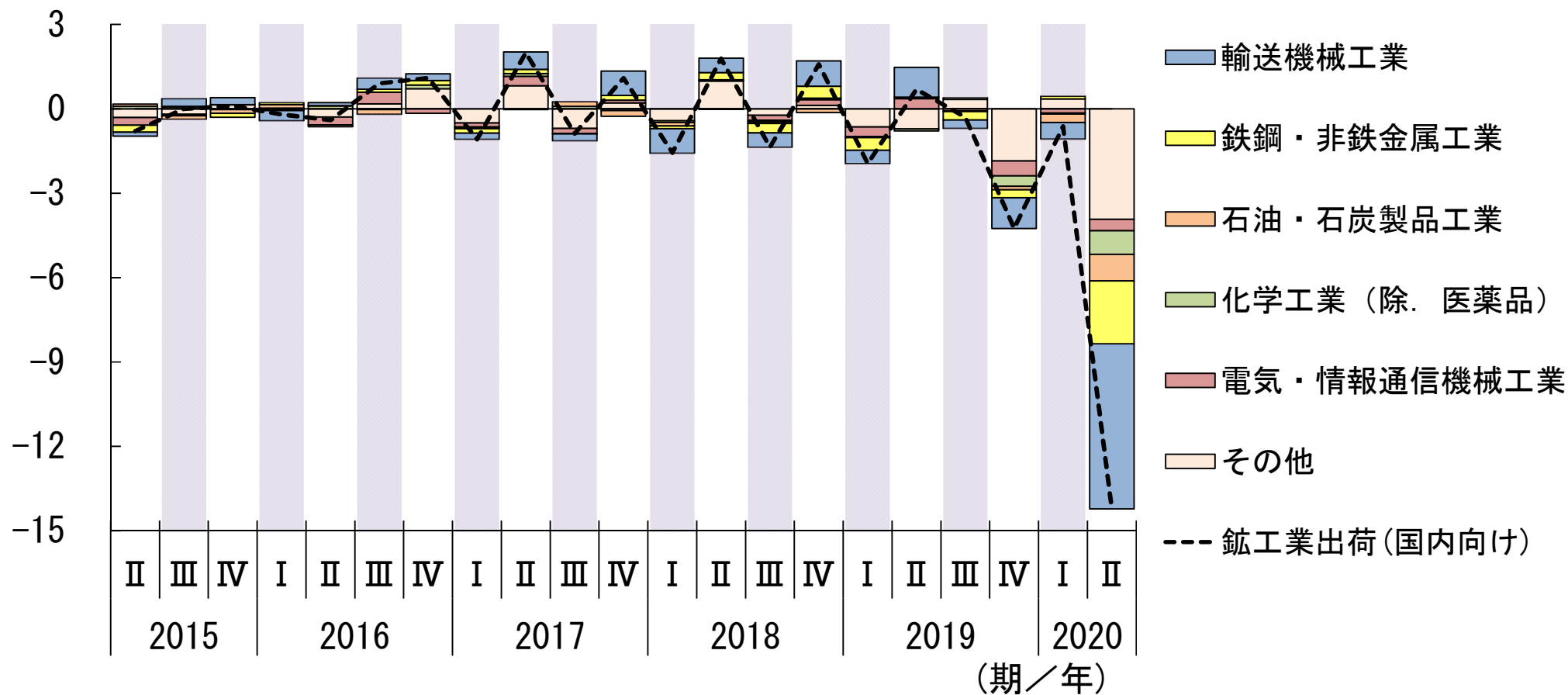
四半期	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数	80.6	74.4	82.6
前期比	-16.6%	-22.9%	-14.2%
指数水準	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ 80.6 ②2020Ⅰ 96.7 ③2019Ⅳ 97.3	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ 74.4 ②2013Ⅰ 92.9 ③2013Ⅱ, 2020Ⅰ 96.5	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ 82.6 ②2020Ⅰ 96.3 ③2019Ⅳ 96.9
前期比の動き	6期連続— (2019Ⅰ～当期)	6期連続— (2019Ⅰ～当期)	4期連続— (2019Ⅲ～当期)
前期比幅	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ -16.6% ②2014Ⅱ -4.1% ③2019Ⅳ -3.9%	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ -22.9% ②2019Ⅳ -3.4% ③2015Ⅳ -3.1%	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ -14.2% ②2014Ⅱ -5.3% ③2019Ⅳ -4.2%

1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・ 2020年4-6月期の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

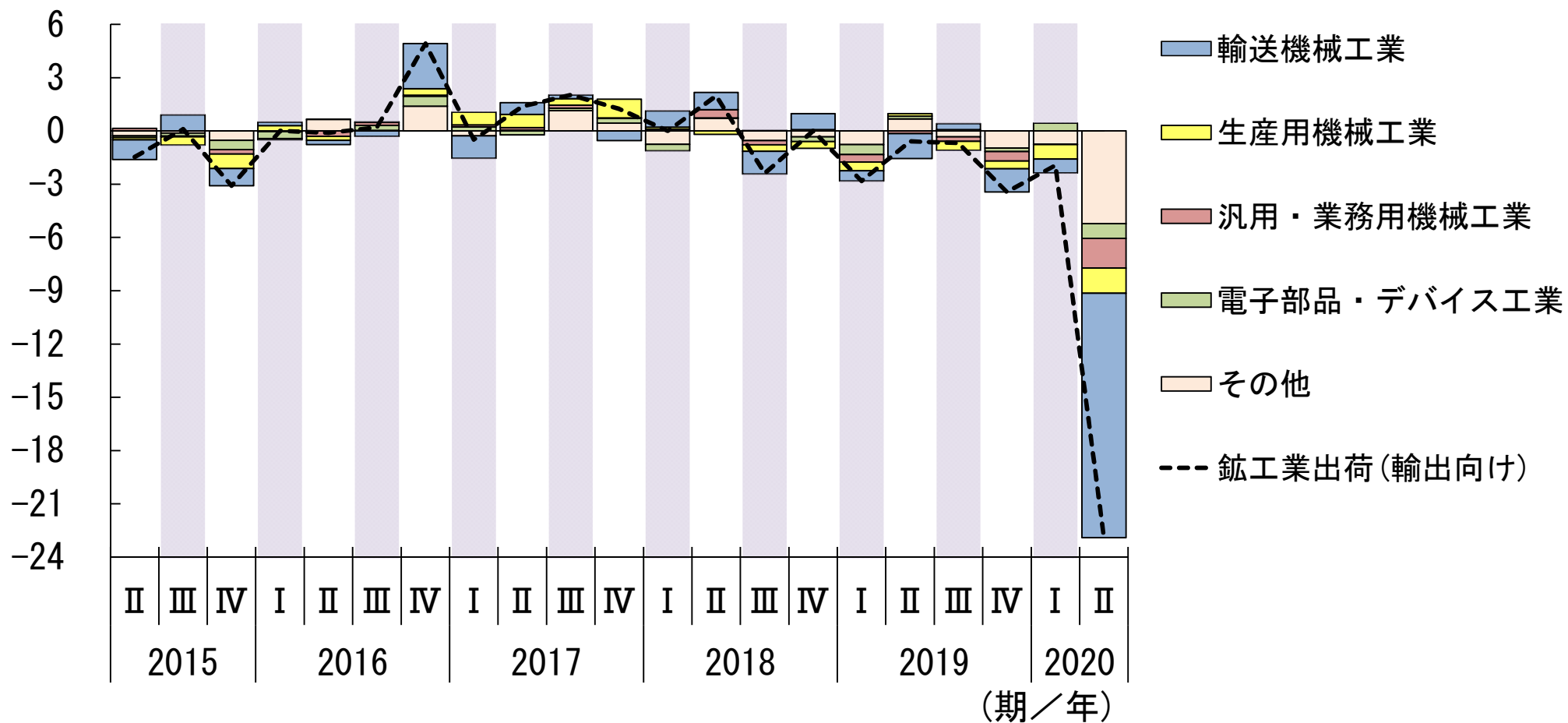


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・ 2020年4-6月期の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。